

野菜の需給・価格動向レポート(平成26年3月17日版)

1 主要野菜の生産出荷状況

種類	2月の価格情報			3月の価格情報		生育及び価格の3月の見通し		
	(参考)保証基準額の算定の基となる平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック旬別平均販売価格		(参考)保証基準額の算定の基となる平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック旬別平均販売価格			
		中旬	下旬				上旬	
葉 茎 菜	キャベツ 	88.05	103	107	88.05	100	・入荷見込量: 17,010t (100) ・主産地: 愛知 (65)、千葉 (17)、神奈川 (14)	・愛知産は、2月下旬から3月はじめにかけての気温の上昇と降雨により、玉肥大が進み、順調な出荷となっており、今後も順調な出荷の見込み。千葉産も、降雨と最近の気温の上昇により順調な生育、出荷となり、今後も平年並みの出荷の見込み。 ・神奈川産は、少なめの出荷の見込み。 ・愛知産及び千葉産の順調な出荷が見込まれることから、価格は、平年並みに推移する見込み。
		83.73	100	105	83.73	98	・入荷見込量: 5,100t (100) ・主産地: 愛知 (42)、兵庫 (16)、大阪 (15)、和歌山 (9)	
	ねぎ (関東は白ねぎ、近畿は青ねぎ) 	229.99	457	325	229.99	337	・入荷見込数量: 4,300t (98) ・主産地: 千葉 (47)、埼玉 (25)、茨城 (9)、輸入 (5)	・千葉産は、適雨と気温の上昇により順調な生育で肥大も進み、平年並みの出荷で、今後も平年並みの出荷の見込み。埼玉産は、葉折れ等も発生し正品率が低いものの、雪も融け、出荷量は回復しており、平年並みの出荷の見込み。茨城産は、年間でいちばん少ない時期の出荷の時期であるものの、平年並みの出荷の見込み。 ・順調な出荷が見込まれることから、価格は、平年並みに近づき見込み。
		450.51	529	542	450.51	469	・入荷見込数量: 220t (88) ・主産地: 徳島 (28)、三重 (15)、香川 (15)、奈良 (12)、高知 (12)、大阪 (10)	
	はくさい 	61.12	75	59	61.12	64	・入荷見込量: 8,660t (100) ・主産地: 兵庫 (38)、茨城 (37)、群馬 (13)	・兵庫産は、2月に前倒しで出荷を行ったことから、現在は少なめの出荷となり、今後も少なめの出荷の見込み。茨城産は、2月の降雪の影響で出荷がずれ込んだことから、平年よりやや多めの出荷となっているものの、今後は平年並みの出荷の見込み。 ・兵庫産の出荷が少なめと見込まれることから、価格は、平年をやや上回って推移する見込み。
		68.7	69	66	68.7	66	・入荷見込量: 3,300t (101) ・主産地: 長崎 (57)、愛知 (16)、兵庫 (10)、熊本 (9)	
	ほうれんそう 	307.66	534	546	307.66	439	・入荷見込量: 1,470t (90) ・主産地: 茨城 (30)、群馬 (23)、千葉 (19)、埼玉 (18)	・茨城産は、降雪の影響もなく、平年並みの出荷の見込み。群馬産及び埼玉産は、2月中旬の降雪の影響で、ハウス等の倒壊もあり少なめの出荷となっており、今後も少なめの出荷の見込み。千葉産は、3月上旬の低温等の影響で生育が停滞し、少なめの出荷となっており、今後も少なめの出荷の見込み。 ・群馬産、埼玉産及び千葉産の出荷が少なめと見込まれることから、価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。
		341.25	397	438	341.25	365	・入荷見込量: 670t (100) ・主産地: 徳島 (58)、福岡 (27)	
	レタス (結球) 	233.85	189	210	199.64	177	・入荷見込量: 8,880t (98) ・主産地: 茨城 (42)、静岡 (22)、香川 (9)、兵庫 (6)、栃木 (5)	・茨城産は、順調な生育、出荷となり、平年並みの出荷の見込み。静岡産は、順調な出荷となっているものの、今後は出荷の終盤を迎え、出荷量が減少する見込み。香川産は、少なめの出荷となっており、3月いっぱいには少なめの出荷の見込み。兵庫産は、少なめの出荷となっているものの、月末から増加する見込み。 ・茨城産の順調な出荷が見込まれることから、価格は、平年並みに推移する見込み。
		226.75	187	216	203.61	190	・入荷見込量: 1,350t (90) ・主産地: 兵庫 (35)、徳島 (22)、香川 (21)、茨城 (8)、長崎 (6)	
たまねぎ 	76.15	140	136	76.15	138	・入荷見込量: 10,980t (95) ・主産地: 北海道 (72)、静岡 (16)、輸入 (9)	・北海道産は、生育期の少雨等の影響で全体的に小玉傾向の貯蔵ものの出荷となっており、平年より少なめの出荷の見込み。静岡産は、順調な生育、出荷となっているものの、まとまった出荷は、3月20日までの見込み。 ・出荷の大宗を占める北海道産の出荷が少なめと見込まれることから、価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。	
	76.15	137	135	76.15	142	・入荷見込量: 4,000t (89) ・主産地: 北海道 (54)、長崎 (17)、兵庫 (14)、静岡 (6)		
果 菜	きゅうり 	370.98	386	395	253.93	334	・入荷見込量: 6,010t (92) ・主産地: 群馬 (20)、宮崎 (19)、埼玉 (18)、千葉 (18)、茨城 (12)	・群馬産及び埼玉産は、2月中旬の降雪によるハウスの倒壊などにより、少なめの出荷となり、今後も少なめの出荷の見込み。宮崎産は、最近の好天により順調な生育で平年並みの出荷の見込み。千葉産は、3月上旬の低温の影響で少なめの出荷であったものの、今後は気温の上昇と日照量の増加も見込まれることから、平年並みの出荷の見込み。 ・群馬産及び埼玉産の出荷が少なめと見込まれることから、価格は、平年を上回って推移する見込み。
		350.33	363	388	242.77	309	・入荷見込量: 1,200t (89) ・主産地: 宮崎 (41)、高知 (22)、徳島 (17)、愛媛 (7)	
	トマト (大玉) 	332.6	348	394	339.78	380	・入荷見込量: 6,120t (95) ・主産地: 熊本 (26)、栃木 (23)、愛知 (12)、茨城 (6)、千葉 (5)、埼玉 (5)、群馬 (4)、福岡 (4)	・熊本産は、順調な生育、出荷となり、平年並みの出荷となり、今後も平年並みの出荷の見込み。栃木産は、2月中旬の降雪の被害も回復傾向で、順調な生育、出荷となっており、今後は気温の上昇とともに出荷量の増加が見込まれるため、平年並みかやや多めの見込み。 ・順調な出荷が見込まれることから、平年を上回っている価格は、平年並みに近づき見込み。
		311.06	345	382	321.78	361	・入荷見込量: 1,100t (93) ・主産地: 熊本 (62)、福岡 (15)、愛知 (8)	
	なす 	389.03	414	421	347.77	404	・入荷見込量: 2,830t (97) ・主産地: 高知 (52)、福岡 (25)、佐賀 (7)	・高知産は、順調な生育、出荷となっており、今後は気温の上昇と日照量の増加に伴い、出荷量が増加する見込み。福岡産は、病害も少なく、順調な出荷となっており、今後も、気温の上昇に伴い、出荷量が増加し、平年並みの出荷の見込み。 ・順調な出荷が見込まれることから、平年を上回っている価格は、平年並みに近づき見込み。
		397.74	416	421	330.95	394	・入荷見込量: 540t (90) ・主産地: 高知 (34)、熊本 (25)、福岡 (19)、岡山 (10)、大阪 (7)	
ピーマン 	551.24	665	679	551.24	663	・入荷見込量: 1,750t (99) ・主産地: 茨城 (37)、宮崎 (30)、高知 (19)、鹿児島 (13)	・茨城産は、順調な出荷で平年並みの出荷の見込み。宮崎産は、少なめの出荷となっているものの、生育は順調で着果も良いので、今後は出荷量が増加し、平年並みの出荷の見込み。高知産は、気温の上昇と日照量の増加に伴い、生育は順調で着果量も多いことから、今後は、平年並みの出荷の見込み。 ・順調な出荷が見込まれることから、平年を上回っている価格は、平年並みに近づき見込み。	
	513.91	630	649	513.91	643	・入荷見込量: 340t (86) ・主産地: 宮崎 (58)、高知 (24)、鹿児島 (8)、和歌山 (6)		
根 菜	だいこん 	79.03	106	76	79.03	73	・入荷見込量: 12,690 (98) ・主産地: 神奈川 (62)、千葉 (31)	・神奈川産は、順調な生育となり、平年並みの出荷の見込み。千葉産は、適雨と気温の上昇により、順調な生育、出荷となり、今後は、潤沢な出荷の見込み。 ・千葉産の出荷が潤沢と見込まれることから、価格は、平年を下回って推移する見込み。
		80.47	76	80	80.47	71	・入荷見込量: 2,900t (94) ・主産地: 長崎 (33)、徳島 (27)、鹿児島 (27)、香川 (7)	
	にんじん 	101.05	160	163	101.05	150	・入荷見込量: 6,510t (96) ・主産地: 千葉 (46)、徳島 (24)、埼玉 (7)、輸入 (5)	・千葉産は、2月中旬の降雪の影響で、出荷の切り上がりはずれ込んでいることもあり、平年よりは少ないものの、少なかつた前年よりは多めの出荷となっている。まとまった出荷は、3月中旬までの見込み。徳島産は、まとまった出荷は、3月下旬からであるが、天候に恵まれ生育は順調で、平年並みの出荷の見込み。 ・千葉産の出荷が少なめと見込まれることから、価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。
104.73		128	134	104.73	121	・入荷見込量: 2,400t (95) ・主産地: 鹿児島 (62)、徳島 (17)、愛知 (10)、長崎 (7)		

種類	2月の価格情報			3月の価格情報		生育及び価格の3月の見通し	
	(参考) 保証基準額の算定の基となる平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック旬別平均販売価格		(参考) 保証基準額の算定の基となる平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック旬別平均販売価格		
		中旬	下旬				月上旬
いも	さといも	217.95	258	269	217.95	261	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入荷見込量: 630t (95)</li> <li>・主産地: 埼玉 (34)、千葉 (34)、輸入 (8)</li> <li>・埼玉産は、掘り取りが終了しており、平年並みの出荷の見込み。千葉産は、前年の夏の高湿、少雨の影響から少なめの出荷の見込み。</li> <li>・千葉産の出荷が少なめと見込まれることから、価格は、平年を上回って推移する見込み。</li> </ul>
		219.65	422	429	219.65	337	
も	ばれいしょ	88.17	96	100	88.17	103	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入荷見込量: 8,740t (98)</li> <li>・主産地: 北海道 (62)、鹿児島 (34)</li> <li>・北海道産は、平年並みの出荷となっている。鹿児島産は、作柄は順調で大玉傾向であるものの、最近の降雨により収穫作業が遅れていることから、おおむね平年並みの出荷の見込み。</li> <li>・出荷の大宗を占める北海道産の貯蔵ものの計画的な出荷が見込まれることから、平年を上回っている価格は、引き続き現状程度の水準で推移する見込み。</li> </ul>
		88.17	90	95	88.17	99	

注: 1 平均価格は、過去6年間の中央卸売市場の各指定野菜の卸売価格を物価指数で修正した価格の平均(消費税は除く。)  
2 旬別平均販売価格の赤字は平均価格を50%以上回るもの、背景ありは保証基準額(平均価格の90%)を下回るもの(消費税は除く。)  
3 単位は円/kg、上段は関東、下段は近畿ブロック。  
4 入荷見込量は、関東農政局及び近畿農政局「野菜の入荷量と価格の見通し」による。( )内は前年対比。  
5 主産地は、東京都及び大阪市中央卸売市場への出荷の多い県名。( )内は入荷シェアであり、関東は本年の見込み、近畿は前年の実績。  
6 コメントは、都道府県、出荷団体、都道府県野菜価格安定法人、卸売会社等からの聴取りをもとに機構が作成したもの。  
7 平成25年8月20日版より、平均価格と旬別平均販売価格を一部の品目につき細分化し、ねぎについては関東は白ねぎ、近畿は青ねぎ、レタスについてはレタス(結球)、トマトについてはトマト(大玉)の数値を用いている。

## 2 野菜の需要動向

家計調査によると、1月の1人当たりの生鮮野菜の購入数量は、4.379gで前年比103%、購入金額は、1,775円で同106%となり、購入数量、購入金額ともに前年をやや上回った。  
また、小売物価統計によると、2月のキャベツの小売価格は、234円で過去5か年平均比111%、レタスは、566円で同93%となり、キャベツは過去5か年平均をかなり上回り、レタスはかなり下回った。

生鮮野菜の購入数量及び購入金額(1人当たりの購入数量と購入金額)

年	過去5か年平均		平成25年		平成26年	
	購入数量(g)	購入金額(円)	購入数量(g)	購入金額(円)	購入数量(g)	前年比
1月	4,252	1,595	4,243	1,669	4,379	103
2月	4,463	1,624	4,553	1,652		0
3月	4,836	1,772	4,961	1,769		0
4月	4,747	1,838	5,019	1,809		0
5月	5,103	1,902	5,257	1,861		0
6月	5,092	1,885	5,249	1,897		0
7月	4,423	1,712	4,456	1,783		0
8月	4,324	1,713	4,422	1,741		0
9月	4,768	1,803	4,577	1,863		0
10月	5,238	1,861	5,225	1,932		0
11月	4,993	1,671	4,852	1,806		0
12月	5,142	1,882	5,152	2,093		0

資料: 総務省「家計調査報告(二人以上世帯(農林漁家世帯を除く))」注: 過去5か年平均は、平成20~24年の平均。

主要野菜の小売価格(東京都区部)(単位: 円/kg)

	キャベツ			レタス		
	過去5か年平均	平成26年	5か年比(%)	過去5か年平均	平成26年	5か年比(%)
1月	198	267	135	673	684	102
2月	211	234	111	605	566	93
3月	200		0	498		0
4月	248		0	469		0
5月	169		0	371		0
6月	137		0	317		0
7月	153		0	322		0
8月	140		0	415		0
9月	149		0	506		0
10月	158		0	449		0
11月	162		0	421		0
12月	162		0	521		0

資料: 総務省「小売物価統計調査報告」  
注: 1 過去5か年平均は、平成21~25年の平均。  
2 平成26年2月の値は、2月中旬の速報値。

## 3 野菜の輸入動向

2月の野菜の輸入を植物防疫統計で見ると、たまねぎは、前年比161%(中国は同157%、アメリカは同301%)の2万9千トン、にんじんは、同112%(中国は同88%、台湾は同176%)の8百トン、ねぎは、同116%(中国は同115%)の5千トンとなった。たまねぎ、にんじん、ねぎともに前年を大幅に上回った。

野菜の輸入数量

区分	平成24年		平成25年		平成26年1月	
	前年比	前年比	前年比	前年比	前年同期比	
生鮮野菜	946,931	103	854,057	90	94,093	142
加工野菜	1,909,671	106	1,854,295	97	170,471	100
野菜合計	2,856,601	105	2,708,352	95	264,564	112
うち中国産野菜合計	1,458,418	103	1,415,901	97	144,226	118
中国産シェア	51		52		55	

資料: ベジ探(原資料)財務省「貿易統計」

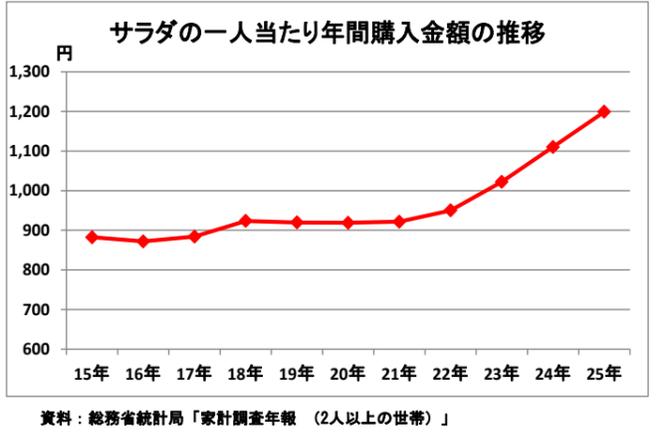
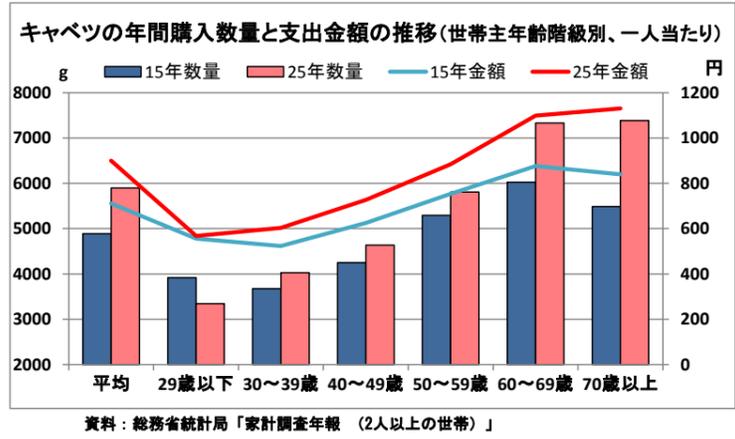
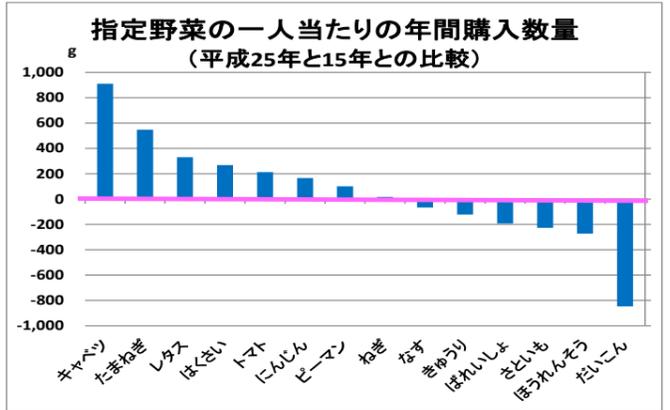
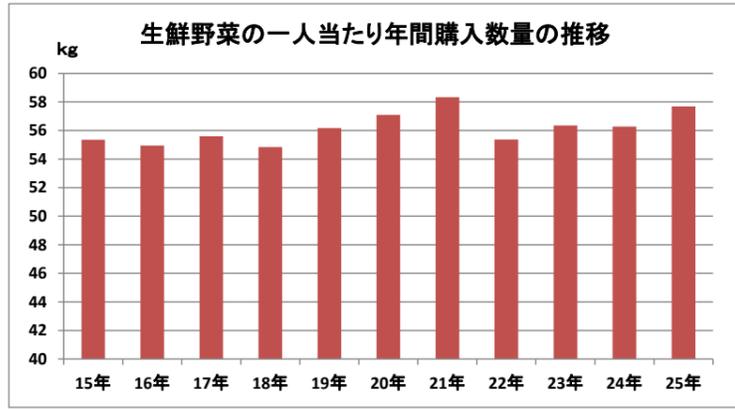
主な野菜の輸入数量

品目	輸入先	平成25年2月(A)	平成26年2月(B)	(B)/(A)
たまねぎ	合計	17,907	28,919	161
	中国	13,645	21,421	157
	アメリカ	1,320	3,975	301
にんじん	合計	5,145	5,737	112
	中国	4,344	3,825	88
	台湾	475	837	176
ねぎ	合計	4,158	4,805	116
	中国	4,132	4,744	115

資料: 農林水産省「植物防疫統計」注: 平成26年2月は、速報値。

## 4 トピック — 平成25年の野菜の購入数量について —

平成25年の生鮮野菜の1人当たり購入数量(「家計調査」、2月18日公表)は58kgとなり、最近10年間の推移をみると、年次変動はあるが、ほぼ横ばいないし微増傾向にある。野菜の国内生産量と輸入量を加えた国内仕向け量からみた、1人当たりの年間消費量が近年減少傾向にあるなかでは、生鮮野菜の家庭消費は総じて堅調であるといえる。  
一方で、購入品目の動向は、最近10年間で大きく変化し、キャベツ、たまねぎ、レタス、はくさい、トマト、にんじん等が増加する一方、だいこん、ほうれんそう、さといも、ばれいしょ等は減少している。  
このうち、キャベツの年齢層別の購入数量をみると、特に高齢世帯で増加しており、高齢化の進展が、堅調な野菜の家庭消費を支えている面もあるとみられる。  
また、最近では、カット野菜の普及等により、家庭でのサラダの年間購入金額が大きく増加している。  
購入数量が増加している品目については、  
① キャベツ、たまねぎ、レタス、トマトなどは下処理等の手間がかからず、すぐにサラダなどで食べられること(簡便・即食指向)  
② キャベツ、たまねぎ、はくさい、にんじんなどは、炒めたり、煮込んだり、料理法が多様で、メニューも和食・中華をはじめ豊富であること(多様性・汎用性)  
③ トマトなどは、機能性成分が豊富で、種類も豊富であること(健康志向)などの特徴がある。  
今後とも、高齢化や女性の社会進出、単身世帯化は着実に進展するとみられることから、これに伴う野菜消費の変化に即応する形で、加工・業務用需要も含めた国産野菜の安定的な供給が求められている。



●問い合わせ先 独立行政法人農産産業振興機構 野菜需給部 需給業務課 村野、斎藤、山田 TEL03-3583-9483、FAX03-3583-9484 ご意見、ご要望をお寄せください。  
◆「野菜の需給・価格動向レポート」は月2回公表しています。公表時にメルマガでお知らせしますので、ご希望の方はベジ探のトップ画面、メルマガ配信登録・解除ボタンから登録してください。  
★この「野菜の需給・価格動向レポート」は、[http://vegetan.alic.go.jp/vegetable\\_report.html](http://vegetan.alic.go.jp/vegetable_report.html)に掲載しています。